

## 中国出張レポート： 上海で見た「新しい中国」の姿①



### タクシーにはQRコードと禁煙シール

空港からホテルに向かうタクシーの中、1年前になかったのは、QRバーコードでのスマホ決済の案内と、忘れ物探しのシールだった。

タクシー後部座席



もう一つ気になるシールを発見。漢字から読み解くに、健康の為の禁煙を勧める広告。上海市内では2017年3月1日から公共の場、公共の交通での禁煙がスタートしたようだ。

### ホテルに電気自動車の充電ステーション

窓の外に目を移すと、ピカピカの高級車が目立つ、ほとんどが欧州のメーカー。

ホンダがちらほら、日本であれほど見るプリウスは一台もお目にかからない。むしろ特斯拉など電気自動車が目立つ。

驚いたのは、シャングリラホテルに電気自動車用の充電スタンドが設置されていたことだ。一年前にはなかった光景。街には特斯拉の充電設備も発見。

上海シャングリラホテル



特斯拉の充電設備

### シェア自転車の普及は想像以上

ホテルの裏には、シェア自転車がかなりの数乗り捨てられていた。ホテル従業員が使っているものだと推測され、モバイクを中心としたシェアリング自転車サービスはかなり普及していると思われる。上海市内の歩道にはどこでも大量のシェアリング自転車が並べられており、圧巻だ。



上海浦東

### 地下鉄には傘のシェアリングブースが登場

主要地下鉄駅では、傘のシェアリングサービスが開始されていた。スマホをかざすだけで、「自転車」、そして『傘』さえ利用できる、それが「新しい中国」の姿だ。

傘シェアリング 上海地下鉄にて



### キャッシュレス社会が浸透

買い物はテンセント系のウィチャットペイと、アリババ系のアリペイ。レジの支払いで人民元紙幣を使っているのは、日本から来た我々だけ？

普及率は98%とのこと。滞在中、支払に人民元紙幣を使用した中国人は一人もいなかった。

### ゴマ信用アプリを現地で確認

「ゴマ信用」と呼ばれる信用力モニタリングサービスの普及も確認できた。決済データによる信用スコアが高ければ、優位な条件で借入が可能。その他、デポジットなしでシェア自転車が使えたり、無料で旅行時にWi-Fi（ワイファイ）も利用できる特典付きだ。

現地では、中国版LINE、「ウィチャット」が大人気。地下鉄やカフェ、セミナー会場でも、みんながスマホに夢中で、怖いぐらい。使用料が増えれば、ゴマ信用スコアはあがるとか。中国の「新たな信用」の世界も確認できた。

ゴマ信用サイト（上海現地スタッフのスマホより）



※次回の第二弾は、現地で見た「新しい中国」での消費動向、セキュリティ強化の実情に迫る予定

商号： UBS アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第412号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとにUBS アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2018. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。